

防 除 情 報

平成17年3月15日
長崎県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察 防除情報第13号

きゅうりの褐斑病、コナジラミ類の防除対策について

きゅうりの褐斑病、コナジラミ類が各地で多く発生しています。これらの病害虫がハウス内で蔓延すると防除が困難になりますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

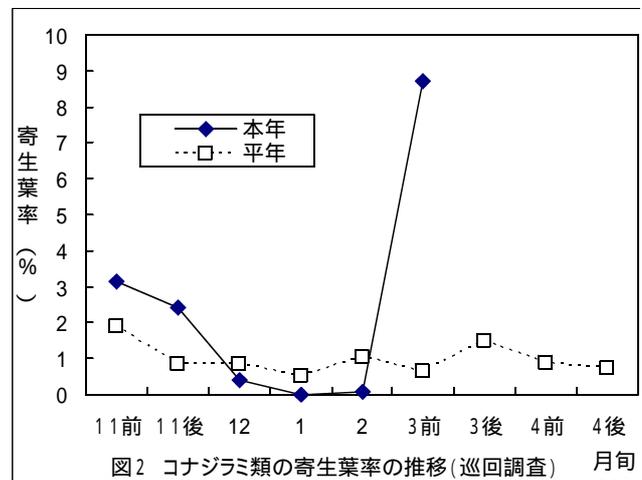
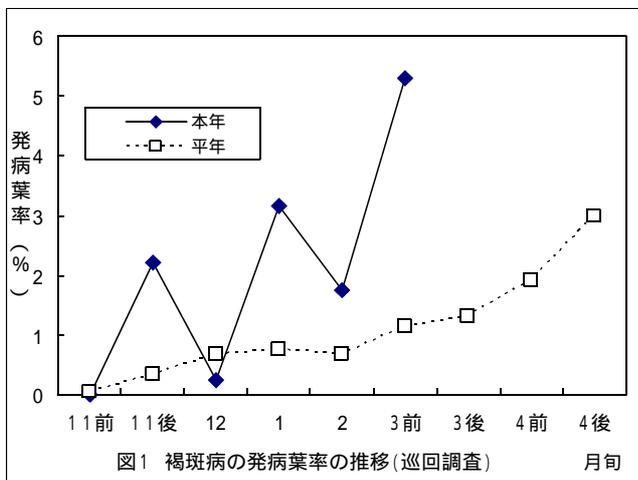
1、発生状況

(1) 褐斑病

3月上旬の巡回調査の結果、発病葉率は5.3%（平年1.2%）、発生圃場数は12筆中9筆であった（図1）。

(2) コナジラミ類

3月上旬の巡回調査の結果、寄生葉率は8.7%（平年1.2%）、発生圃場数は12筆中6筆であった（図2）。



2、防除対策

(1) 褐斑病

- ・高温多湿で発生が多くなるので、ハウス内の換気を十分に行い湿度を下げる。
- ・発生が多くなってからでは防除が困難になるので、早期防除に努める。
- ・薬剤散布は葉裏まで十分薬液がかかるようにし、系統が異なる薬剤をローテーション散布する（薬剤は県防除基準参照）。
- ・今年多発した圃場は、次作も発生しやすいので、収穫終了後の作物残さはハウス内に放置しない。

(2) コナジラミ類

- ・多発生するとすす病を生じるので防除につとめる。
- ・薬剤散布は葉裏まで十分薬液がかかるようにし、系統が異なる薬剤をローテーション散布する（薬剤は県防除基準参照）。